

# プラチナ展望

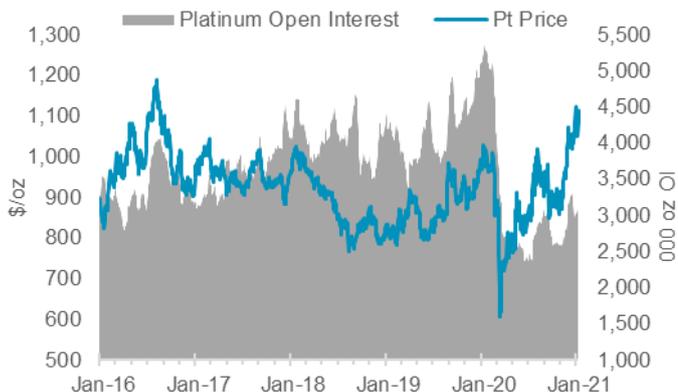
## ゴールドにつられたボラティリティーにもかかわらず、 プラチナの潜在的需要の展望、さらに投資家を呼び込む

プラチナは今年1月に入って1100ドル以上で取引されており、昨年3月の底値から47%の上昇、2016年8月以来の最高値となっている。しかし一見好調に見えるプラチナも、ゴールド、そしてプラチナが代替となる工業メタルのパラジウムに比べるとまだ割安である。過去2年連続で供給不足、そして今年も不足となる予測だが、銅などに比べ自動車や工業用としてのプラチナはあまり注目されていない。プラチナ価格を押し上げているのは何か、そして注目されていないのはなぜだろうか。

長期的なプラチナ価格を動かすのは現在の需給ファンダメンタルズ、そして将来の需給ファンダメンタルズに対する期待である。ファンダメンタルズに基づいて取引をする投資家は通常、NYMEX プラチナ先物市場を使うが、彼らの取引は不定期な場合もあるし取引量が小さいために、ゴールドの動きやヘッジファンド・CTAファンドが短期的にプラチナ価格変動に及ぼす影響を抑えるのに十分でない場合がある。

2020年下半期に3度プラチナとゴールドの相関関係が強くなったことがあった。7月末、8月半ばから10月半ば、そして12月初めである(2ページの図1)。この期間中ゴールド価格が1%動くとも少なくともプラチナ価格は1.5%動いていた。ゴールド市場よりも明らかに小さな市場であるプラチナ市場はボラティリティーがより大きく、それがヘッジファンド・CTAファンドを呼び込み、さらに価格が大きく動いた。プラチナとゴールドの通常の相関関係はゴールド価格の下落時に高くなる。

**NYMEX プラチナ先物とプラチナ価格：プラチナ価格は2020年3月半ば以来、急回復し2021年頭には4年半ぶりの高値に達した。**



資料: NYMEX, ブルームバーグ, WPIC リサーチ。注: 2021年1月15日までのデータ

**2020年1月1日の価格を100とした指数：プラチナ価格は2020年3月の底値から47%上昇したにもかかわらず、他の貴金属、工業金属より割安**



資料: ブルームバーグ, WPIC リサーチ。注: 2021年1月15日までの価格

2020年の上半期、貴金属としての用途以外の部分を反映してプラチナは銅とも強い相関関係を示した(2ページの図2)。世界経済の順調な回復と再生可能エネルギー設備への投資需要から、銅の需要増への期待が膨らみ、COMEX 銅は3年来の大幅な買越し増となった。対照的にプラチナの現在の買越し(2ページの図5)は、増えてはいるが2020年1月レベルの半分以下である。厳格化する排ガス規制を受け効率的な排ガス軽減策としてガソリン車でパラジウムの代わりに使えるプラチナの、さらにグリーン水素経済を促進し輸送・重工業の脱炭素化に役立つプラチナの潜在的な需要増があるにもかかわらず、である。プラチナの工業需要の明るい展望は、投資家にとって現在のレベルからさらにプラチナ買いを誘う大きな要因となるべきである。

**2021年のプラチナ消費の65%以上が自動車と工業用と予測され、プラチナが持つ工業メタルとの強い相関関係は世界経済の回復を背景に、さらに重要なものとなるだろう。**

Trevor Raymond

Director of Research

+44 203 696 8772

[traymond@platinuminvestment.com](mailto:traymond@platinuminvestment.com)

David Wilson

Manager, Investment Research

+44 203 696 8786

[dwilson@platinuminvestment.com](mailto:dwilson@platinuminvestment.com)

Brendan Clifford

Manager, Investor Development

+44 203 696 8778

[bclifford@platinuminvestment.com](mailto:bclifford@platinuminvestment.com)

World Platinum Investment Council

[www.platinuminvestment.com](http://www.platinuminvestment.com)

Foxglove House, 166 Piccadilly

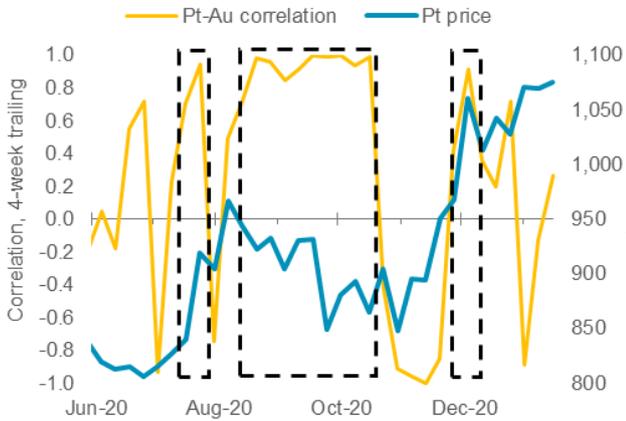
London W1J 9EF

2021年1月

**投資資産としてのプラチナの魅力:**

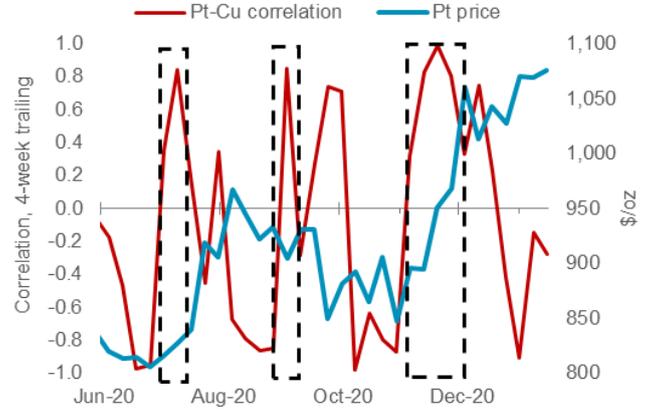
- 新たな金属鉱山への投資は限定的で、供給は比較的制限されている。
- プラチナ価格は金との比較では過去最低価格に近い。パラジウムとの比較では史上最低レベルにある。
- PGM 全体の需要は排ガス規制の厳格化により今後も成長
- プラチナとパラジウム市場の需給バランスと価格のミスマッチはプラチナへの代替を加速
- プラチナの低価格と良好なファンダメンタルズへの展望で機関投資家需要は急増

**図 1: プラチナとゴールドの強い相関関係が続くが先物ポジションの違いに中断される**



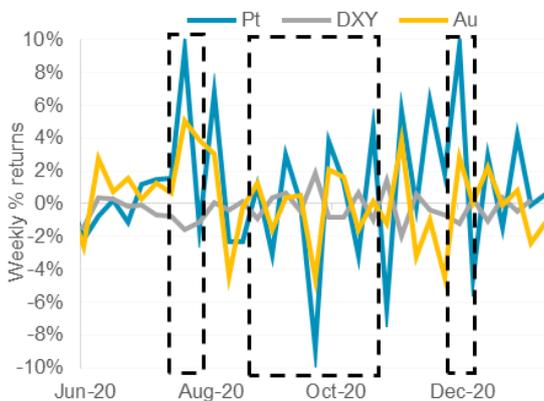
資料: ブルームバーグ, WPIC リサーチ。注: 点線は最も相関関係の高い時期, 2021年1月15日までのデータ

**図 2: NYMEX 先物ポジションがプラチナの工業有用性を反映する時は銅との強い相関関係が現れる**



資料: ブルームバーグ, WPIC リサーチ。注: 2021年1月15日までのデータ

**図 3: プラチナ価格は相関関係の強弱にかかわらずゴールドよりボラティリティーが高い**



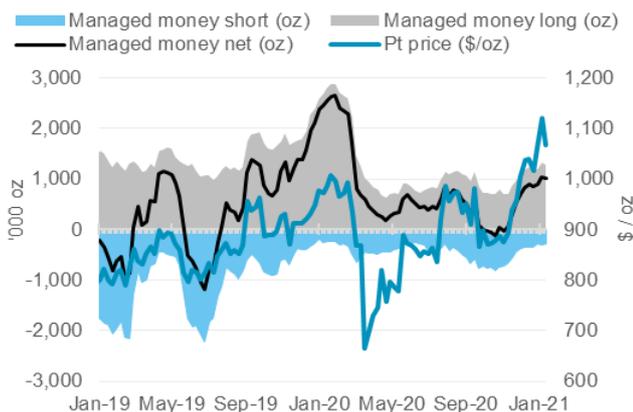
資料: ブルームバーグ, WPIC リサーチ。注: 2021年1月15日までのデータ

**図 4: 2020年3月以来の価格上昇にもかかわらずプラチナはゴールドに比べ大幅に割安のまま**



資料: ブルームバーグ, WPIC リサーチ。注: 2021年1月15日までの価格

**図 5: NYMEX プラチナ買越しは増えているが2020年第1四半期レベル以下**



資料: ブルームバーグ, 商品先物取引委員会, WPIC リサーチ。注: 2021年1月12日までのデータ

**図 6: 対照的に COMEX 銅の買越しは3年越しの最高値**



資料: ブルームバーグ, 商品先物取引委員会, WPIC リサーチ。注: 2021年1月12日までのデータ

## 免責条項:

当出版物は一般的なもので、唯一の目的は知識を提供することである。当出版物の発行者、ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンスルは、世界の主要なプラチナ生産会社によってプラチナ投資需要発展のために設立されたものである。その使命は、それによって行動を起こすことができるような見識と投資家向けの商品開発を通じて現物プラチナに対する投資需要を喚起すること、プラチナ投資家の判断材料となりうる信頼性の高い情報を提供すること、そして金融機関と市場参加者らと協力して投資家が必要とする商品や情報ルートを提供することである。

当出版物は有価証券の売買を提案または勧誘するものではなく、またそのような提案または勧誘とみなされるべきものでもない。当出版物によって、出版者はそれが明示されているか示唆されているかにかかわらず、有価証券あるいは商品取引の注文を発注、手配、助言、仲介、奨励する意図はない。当出版物は税務、法務、投資に関する助言を提案する意図はなく、当出版物のいかなる部分も投資商品及び有価証券の購入及び売却、投資戦略あるいは取引を推薦するものとみなされるべきでない。発行者はブローカー・ディーラーでも、また2000年金融サービス市場法、Senior Managers and Certifications Regime 及び金融行動監視機構を含むアメリカ合衆国及びイギリス連邦の法律に登録された投資アドバイザーでもなく、及びそのようなものと称していることもない。

当出版物は特定の投資家を対象とした、あるいは特定の投資家のための専有的な投資アドバイスではなく、またそのようなものとみなされるべきではない。どのような投資も専門の投資アドバイザーに助言を求めた上でなされるべきである。いかなる投資、投資戦略、あるいは関連した取引もそれが適切であるかどうかの判断は個人の投資目的、経済的環境、及びリスク許容度に基づいて個々人の責任でなされるべきである。具体的なビジネス、法務、税務上の状況に関してはビジネス、法務、税務及び会計アドバイザーに助言を求めべきである。

当出版物は信頼できる情報に基づいているが、出版者が情報の正確性及び完全性を保証するものではない。当出版物は業界の継続的な成長予測に関する供述を含む、将来の予測に言及している。出版者は当出版物に含まれる、過去の情報以外の全ての予測は、実際の結果に影響を与えるリスクと不確定要素を伴うことを認識しているが、出版者は、当出版物の情報に起因して生じるいかなる損失あるいは損害に関して、一切の責任を負わないものとする。ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンスルのロゴ、商標、及びトレードマークは全てワールド・プラチナ・インベストメント・カウンスルに帰属する。当出版物に掲載されているその他の商標はそれぞれの商標登録者に帰属する。発行者は明記されていない限り商標登録者とは一切提携、連結、関連しておらず、また明記されていない限り商標登録者から支援や承認を受けていることはなく、また商標登録者によって設立されたものではない発行者によって非当事者商標に対するいかなる権利の請求も行われぬ。

## WPIC のリサーチと第2次金融商品市場指令 (MiFID II)

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンスル(以下 WPIC) は第2次金融商品市場指令に対応するために出版物と提供するサービスに関して内部及び外部による再調査を行った。その結果として、我々のリサーチサービスの利用者とそのコンプライアンス部及び法務部に対して以下の報告を行う

WPIC のリサーチは明確に Minor Non-Monetary Benefit Category に分類され、全ての資産運用マネジャーに、引き続き無料で提供することができる。また WPIC リサーチは全ての投資組織で共有することができる。

1. WPIC はいかなる金融商品取引も行わない。WPIC はマーケットメイク取引、セールストレード、トレーディング、有価証券に関わるディーリングを一切行わない。(勧誘することもない。)
2. WPIC 出版物の内容は様々な手段を通じてあらゆる個人・団体に広く配布される。したがって第2次金融商品市場指令(欧州証券市場監督機構・金融行動監視機構・金融市場庁)において、Minor Non-Monetary Benefit Category に分類される。WPIC のリサーチは WPIC のウェブサイトより無料で取得することができる。WPIC のリサーチを掲載する環境へのアクセスにはいかなる承認取得も必要ない。
3. WPIC は、我々のリサーチサービスの利用者からいかなる金銭的報酬も受けることはなく、要求することもない。WPIC は機関投資家に対して、我々の無償のコンテンツを使うことに対していかなる金銭的報酬をも要求しないことを明確にしている。

さらに詳細な情報は WPIC のウェブサイトを参照。

website: <http://www.platinuminvestment.com/investment-research/mifid-ii>

当和訳は英語原文を翻訳したもので、和訳はあくまでも便宜的なものとして提供されている。英語原文と和訳に矛盾がある場合、英語原文が優先する。